

本号もご覧いただき、誠にありがとうございます。本稿は9月末に執筆しておりますが、今年（2025年）12月中旬には、化学に関する国際的な一大イベントの1つである環太平洋国際化学会議2025（The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 2025 ; Pacificchem 2025）が開催されます。前回のPacificchemは、多くの読者の皆様もご存じのとおり、コロナ禍によりオンライン開催となったため、現地ハワイ・ホノルルでの開催は10年ぶりとなります。オンライン開催の際には、ご関係の皆様方は多大なご尽力をされたかと存じますが、現地でのPacificchem 2025開催は、国際的な最先端研究にじかに触れ、また研究者の方々と直接コミュニケーション・意見交換ができる機会として、一参加者として非常に楽しみに思っております。

Pacificchem や日本化学会春季年会などの、化学の多くの分野を対象とする学会では、多様な研究情報に一

度に触れることが可能で、この点においても私は魅力的に思っております。近年、論文や研究情報は、数多くのデジタルプラットフォームを通じて手軽にアクセスできるようになりました。また多くの新しい情報は短期間で広く関係者に伝わり、研究の視野も広がりつつあるように思います。その一方で、膨大な情報の中からの取捨選択もある程度求められるように思います。対面開催での、多分野を網羅する学会においては、この情報の多様性と、それを深く掘り下げる機会に触れることができる点が貴重かと自分なりに思っております。情報の整理整頓は、私は苦手ですが、情報源である発表者の方の声や熱意にじかに触れることで、新しい研究に関するインスピレーションを得ることや、科学における今後の方向性などを少しずつ勉強できる機会かと思いつつ、まずは目の前のPacificchem 2025への参加を楽しみにしております。（砂田祐輔）

カラー写真ご提供のお願い

化工誌編集委員会

本誌の目次や編集者の独り言下に掲載するカラー写真を広く会員の皆様からのご投稿をお願いしています。ご投稿いただいた写真は編集委員会で適宜選択して使わせていただければと考えています。ご投稿の際にはごく簡単な説明をつけていただき、電子ファイルの場合には高解像度のもの（300DPI以上）をお送り下さい。

以下のような写真のご提供をお待ちしています。

1. 季節感のあふれた風景・草花・野鳥・動物の写真など
2. 化学に関する写真—カラフルな物質、化学模型、電顕写真、実験機器、化学プラントなど

送付・問合せ先：101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5
日本化学会 学術情報部 「化学と工業」誌担当
FAX(03)3292-6319 E-mail: kakoshi@chemistry.or.jp



ホトトギス 務台 潔